



# Ledy Home Doctor

レディアホームドクター

[ホームページ <http://town.sanyo.oni.co.jp/ledya/doctor>]

ご相談受け付けています。家族の病気のこと、女性ならではの体の悩みなど医師に聞いてみたいことをお寄せください。

- 郵送先 〒700-8634 山陽新聞社広告編成部「レディアホームドクター係」あて  
□メール [ledya-doctor@sanyo.oni.co.jp](mailto:ledya-doctor@sanyo.oni.co.jp)

回答医師 原口 裕子 先生



岡山第一病院 皮膚科医長  
近畿大学医学部卒業。近畿大  
学附属病院、岡山大学病院皮  
膚科勤務を経て、2011年より  
現職。日本皮膚科学会専門医。  
日本美容皮膚科学会会員。

■岡山市中区高屋343  
■TEL.086-272-4088

URL:<http://www.okayama-daiichi.jp>

そばかす(雀卵斑)は、学童期に発症する1ミリの数ミリの褐色斑が両頬・鼻・まぶたの辺りに散在する小さな色素斑です。女性に多く、思春期に目立つようになります。また、紫外線によりさらに悪化します。そばかすは、顔面の色調を一定に保つ機構の失調という意味で、体質性色素失調症と考えられています。ただ、30代になると加齢によるシミも見られ始める年齢になりますので、そばかすとシミが混在している可能性も考えられます。

そばかすや加齢によるシミであれば「Qスイッチレーザー」や、光治療器(IPL)を用いた治療が有効です。Qスイッチレーザーを使うと、1週間ほどは「かさぶた」になります。通常1回の治療で済みます。光治療は数回の治療が必要となりますが、ダウンタイム(皮膚が回復するまでの時間)が少ない治療法です。治療後はメイクをして帰れます。また、色素斑以外に毛穴の開きや小じわなどにも効果がありません。ご質問の方は結婚式を控えているということです。なので、ダウンタイムの少ない光治療のほうが受けやすいと思われます。詳しくは、皮膚科専門医にお尋ねください。

Q

3カ月後に結婚式があるので、子どものころからあった「そばかす」を薄くしたいのですが、何かいい治療法はありますか。(30代・女性)

A

結婚式控え、そばかす解消したいレーザーや光治療器が有効